

# チャレンジ！前へ！Season1



## 「夢見る小学校 完結編」の上映会から

授業参観後の全体会の時間を利用して上映した『夢見る小学校 完結編』。体育館には70名を超える保護者の皆さんや地域の皆さん、本校職員で鑑賞しました。すでに午前中には4・5・6年生の子供たちが体育館で見ています。私がこの映画を見たのは夏。同席していた教頭先生と「ぜひみんなで見ようよ」ということで実現しました。



テストがない。通知表がない。「先生」ではなく「大人」。舞台は長野県にある「南アルプスこどもの村小学校」。ここでは国語や算数といった教科学習ではなく、体験学習をベースにした「探求学習」が中心です。まさに「教育の本質」があり、子供も楽しい教師も楽しい学校です。子供たちには自由が保障されており、体験学習や探究学習を通して教科学習にせまります。



本校では、子供たちを真ん中においた教育を実践中。子供たちの自主性を高め主体性を育む「(し)TAKUNARU学校」を目指しています。自由進度的学習への授業改革、通信票の見方の改善、一律の宿題廃止、子供たちから提案が出る学校行事など、どうしたら「学ぶ楽しさ」を実感できるかを実践しています。全国では不登校数が35万人を超えるました。これまでの学校や先生方は一生懸命に子供たちに向き合っているとは思いますが、「学校のシステム」を本気で改善しない限り、子供たちに学びの楽しさや学校の楽しさを与えることはないと考えています。ただ、映画の中の学校のように「完全に自由」にはできません。本校は「自由と規律」「一斉と個」のハイブリッドな中で、子供たちの自主性を育て、主体性へ伸ばしていく教育に取り組んでいます。授業の構造改革は自由の範囲にあります。「がんじがらめな授業」ではなく「自分で選択し自分で決める」授業への転換は、学びの楽しさとともに安心感や自主性を高めています。4月から先生方が一生懸命に考え「どんなスタイルがこの子供たちに合っているのだろう」という子供ファーストな話合いが行われてきた結果です。先生方もやる気満々。この学校や先生方、そして子供たちは私にとって「自慢」です。

学校教育法第1条「学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする」。学校教育法第1条に定められている学校等は、文科省が認可した「法律に定める学校」と呼ばれ、国公私立を問わず社会的に公的な性格を持つ教育機関を指し、一条校以外の学校（専修学校や各種学校など）と区別されます。田代友愛小学校も南アルプスこどもの村小学校も同じ「学校」なんですよ。

### 映画を見た子供たちの感想

自分も、あの南アルプス子どもの村小中学校の生徒たちのように、自分のやりたいことや目標を決めて、それに向かって様々な挑戦ができる人間になりたいと思いました。また、その中で「なぜ？」「どうして？」という疑問をどんどん生み出し、学びをより深め、広げられるようになります。日常生活の中でも、たとえ規則などについても、「どうしてこうなっているの？」という疑問をポンポン出せるようになります。それによって、物事に對して躊躇せず挑戦する勇気も持てるようになります。最後に、自分が今何をしたいのか、何をやるべきなのか、そうした苦手なことを克服するためにどうすればよいのかをよく考え、「自分と向き合える人」になれるように頑張りたいです。この学校はみんなが輝いて見え、羨ましいと思った。

自由な小中学校では、子どもたちの発想力も活発になっていて、それを見て、自分もスタディや習ったことを復習して、自分なりに頑張りたいと思いました。

夢見る小学校の学校では、自分のやりたいことを伸ばし、そこから問題が出てきたら、それをみんなで考えたり、やりたいことをやっていく中で他の教科ともつながっていく。さらに、自分で考えて行動していくことで、深く考える力が育まれる。この学校では、自分のありのままの生活を送りながら、自分から挑戦することが大切だと思いました。

学習しているというより、自分たちで勉強しているという感じが強いと思いました。

夢見る小学校では、小学生から中学生までが、自分らしく、自由に学んでいる姿が印象的で、それを見て、自分の学習を見直したいと思いました。

今まで失敗を恐れて意見を持てなかったけれど、失敗してもいいんだと思えるようになり、落ち込んだり悩んだりしないで、逆にその失敗を活かしてどんどん挑戦し、頑張ってみたい。

校長先生が「こういう学校にしたい！」という気持ちが伝わってきました。自分で考えて行動すること、失敗しても大丈夫という学び方はとても良いと思いました。

あの小学校に負けないくらい、自分から行動し、学習を進められるように、家庭学習をしっかりやったり、今やるべきことを判断して自分から行動できるように頑張ろうと思いました。

みんなの前で自分も発表できるように頑張りたいと思います。

夢見る小学校を見て、変わりたいと思いました。勉強を楽しむ人になりたい。今、僕は家で勉強をしていると「どうやったらこの問題を解けるんだろう」と気難しく悩んでしまいます。でも、夢見る小学校に通っている人たちは、まるで違います。勉強を遊んでいるかのように、楽しくやっているんです。だから僕も、そういう人たちのように、何か難しいことにぶつかった時には、クリエイティブに「こうやったら面白いかも」「こうしたら楽しいかも」と思いながら乗り越えられる人になりたいです。